

突然のふるさと行き……

宮川 ちえ子
(飯豊出身/埼玉県支部)

「ちーちゃん、どうしたって
いうの——病気でもして
いるんじゃないかい——」
留守電に、私を気遣って下
さるメッセージが入ったり
「来れないのかい——親が
眠っているんだから、来ら
れる時は来てね——」。い
つも電話などで済ませてい
た。

足のケガから、心・体と
もに行動に臆病になり、義
理を欠きながら親戚や知人
や小野町会の誘いも遠慮を
し、マイペースの日々を過
ごしていました。

そんな中、私もふるさと
小野町会の「ふるさと訪
問」とは別に個人的に11月
10日、小野町を訪問し「小
町ふれあいフェスタ」の会
場へ足を運びました。しか
し、ふるさと小野町会の皆
さんはすでに町を離れてい
たようで、会うことができ
ませんでした。

私が訪れた日は小雨が
降ったり、止んだり「小
町ふれあいフェスタ」のス
テージイベントはビング大
会を除いてすべて屋内に変
更されましたが、大人も子
どももそれぞれに楽しそう
でした。

また実家の住職から「お
祭りやっているから寄って
行ってね」とお誘いを受け
たので、お参りさせていた
だきました。

※住職が「藍綬褒章」の授
章式のため皇居に招かれ
たと聞きとても喜ばしく
思いました。

私は「小町ふれあいフェ
スタ」会場の外のテントか
ら無農薬の野菜を段ボール
いっぱい買い込み、滞在時
間を気にしながらの私のふ
るさと訪問でした。

このふるさと訪問を通し
て、食と農の「小泉武夫東
京農大名誉教授」や、東京

新聞の落合恵子「この道」
(11月3日夕刊)に書いて
あったコラムを思い出しま
した。地方には命をつなぐ
食を生産すると言う宝があ
るねと——長男とそんな会
話をしながら、懐かしい「店
屋」のシャッター通りを抜
け、いわきまでの新しい道
からのふるさとの秋を眺
め、帰路に着きました。出
会えた皆さまとのわずかな
ふれあいに感謝の一日でし
た。向寒の折、皆さまご自
愛くださいますように。



ゆ〜ゆ〜こまちで変わり湯

1月はゆず湯

老人憩の家たかむら荘「ゆ〜ゆ〜こまち」
では、利用促進のため変わり湯を実施します。

いつもと違ったお風呂が楽しめますので、
ぜひご利用ください。

◎変わり湯

ゆず湯(疲労回復、冷え性、神経痛、腰痛、
肌荒れに効果があると言われてい)

◎実施期間

1月24日(金)から1月26日(日)まで

※次回「変わり湯」は2月を予定してい
ます。詳しくは「広報おのまち1月号」
でお知らせします。

◎たかむら荘入浴料

大人 1回200円

子ども 1回100円

☎ゆ〜ゆ〜こまち

☎72-3736

☎健康福祉課

☎72-6934

